

講演に参加して

あっという間に過ぎた2時間でした。

先生の巧みな話術と素晴らしい歌声に時を忘れました。

先に唱歌は国家創世のため、童謡は純粹に子どもの健な成長のためと成り立ちの違いを教えていただき、同じように思っていた歌にこのように深い意味があるのかとあらためて知りました。

そしてどちらにも共通する日本語の美しさ、優しさを、言葉が乱れている今の時代、もっと見直し大切にせねばと痛感しました。

すべては先生のお人柄を通して実感でできたことです。

最後にうたってくださった「千の風になって」を聞き、老いを身近に感じている私ですが、「死」は決して怖がるものでなく、自然に受け入れていこうという勇気が湧いてきました。

本当に素晴らしい歌の心を教えていただきありがとうございました。